

# 建設通信新聞

2021年(令和3年)  
12月3日  
金曜日

お問い合わせ  
平日9:30-17:30  
◆紙面への質問・意見  
TEL.03-3259-8721  
FAX.03-3259-8729  
◆購読の申し込み  
TEL.03-3259-8711  
FAX.03-3259-8730  
◆広告の申し込み  
TEL.03-3259-8715  
FAX.03-3259-8730  
◆電子版の問い合わせ  
TEL.03-3259-8723  
FAX.03-3259-8730

Webからの申し込みはこちら



発行所 日刊建設通信新聞社  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-13-7  
電話(03)3259-8711  
FAX(03)3259-8730  
©日刊建設通信新聞社 2021

マンホール他建築・土木・設備資材製造販売  
**福西 株式会社**  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL.03-5561-1111 FAX.03-5561-1112

## きょうは、何の日

個人タクシーの日  
1959年(昭和34)年のきょう、初めて個人タクシーの営業許可が下りたことにちなみ、全国個人タクシー協会が記念日に制定しました。安全確実な輸送手段としての個人タクシーをPRすることが狙いです。

## きょうの紙面

### ③ パッシブタウン第5期 YKK不動産が概要発表

YKK不動産は富山県黒部市で整備を進めているパッシブタウンの第5期街区の概要を発表した。水素エネルギー供給システム(パワーガス)を実装した国内初の中高層集合住宅で、2023年4



# 原材料不足で遅れ深刻

## 吹付ウレタン断熱工事

海外からの原材料供給が事実上停止していることを受け、吹付ウレタン断熱工事に遅れが出始めている。ビルやマンションの壁面断熱材として主流となっている吹付ウレタンは代替がきかない製品だけに、後工程や建築物の完成、引き渡し時期への影響も懸念される。具体的な打開策を見いだせない中で、日を追うごとに事態は深刻化しており、関係者は頭を悩ませている。



吹付ウレタンは壁面断熱材の主流となっている

シアネットは世界的な資材不足を受けて品薄状態。中国からの輸入に依存する難燃剤についても同国の電力不足で多くの生産設備が停止しており、入手が困難になっている。

これまで表面化してこなかった背景には、吹付ウレタン断熱工事が建築工事全体の工程上、11月から翌年1月に集中することにある。繁忙期の到来によって、硬質ウレタンフォームの原液不足に起因した断熱工事の遅れが全国各地の現場で生じている。

## 打開策なく工期への影響危惧

吹付ウレタンの原液は、ポリリンシアネット、ポリオールの2成分で構成され、そのうちのポリオール成分にはポリオールのほか、発泡剤、整泡剤、触媒、難燃剤などを混合する。

0(ハイドロフルオロレフィン)の製造元で、世界的なシェアを誇る米国・ハネウェルの工場がことし8、9月にかけて発生したハリケーンの影響を受けたため、同社は「注文ど

他の発泡剤として「HFC(ハイドロフルオロカーボン)」が存在するものの、温室効果が高く、フロン排出抑制法のフロン類に該当する(きく)する。

実際の断熱工事では、ドラム缶に入った、この2成分を専用の吹付発泡機で混合調整し、吹付ガンから硬質ウレタンフォームを成形して施工する。断熱材としての吹付ウレタンは施工性や品質の高さからビル、マンションの壁面の9割以上で使用されている。

ただ、ノンフロンの発泡剤「HFO」格稼働(宣言解除)の見通しはたっていない。

さらに、原液の主原料であるイン

て現状を説明し、理解を求めていく方針だ。

## 積極財政検 来夏参院選



自民党が新設した「財政政策検討本部」(本部長・西田昌司参院議員)は1日、党本部で役員会を開き、日本経済を成長軌道に戻すために必要な財政政策を議論する方針を確認した。積極的な財政出動を念頭に、国債の増発が市場に与える影響や財政健全化目標の在り方などを検証し、来